

仏説観無量壽經

および耆婆と与に王の為に礼を作して  
もうしてもうさく大王臣毘陀論經の説  
を聞くに劫初より已來諸もろの悪王あ  
り国位を貪ずるが故にその父を殺害す  
ること一万余八千なり いまだかつて無  
道にして母を害することあることを聞  
かず王今この殺逆の事をなさば刹利種  
を汚さん臣聞くに忍びずこれ旃陀羅な  
りよろしくここに住せしむべからず時  
に二大臣この語を説きおわって手をも  
って剣を按じて卻行して退く時に阿闍  
世驚怖惶懼して耆婆に告げていわく汝  
我が為にせずや耆婆もうしてもうさく  
大王慎んで母を害することなかれ 王  
この語を聞きて懺悔して救わんことを  
求むすなわち剣を捨て止めて母を害せ  
ず内室に勅語し深宮に閑置してまた出  
ださしめず

為

令和 年 月

日  
浄写